

平成 29 年度 第 1 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 29 年 5 月 22 日 (月) 午後 2 時 30 分から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

- (構成員) 山 本 賢 一 町長
菅 波 俊 美 教育長
戸草内 勝 夫 教育長職務代理者
兼 田 寿 教育委員
関 向 玲 子 教育委員
田 端 守 教育委員
- (事務局) 佐々木 久 教育委員会事務局次長
大清水 一 敬 同 担当主幹
工 藤 薫 同 次長補佐
八ツ役 真 司 同 指導主事
- (関係者) 高 橋 広 明 軽米小学校校長
浅 倉 圭 同 副校長
藤 本 実 小軽米小学校校長
石 川 和 広 同 副校長
工 藤 健 三 晴山小学校校長
瀧野澤 公 美 同 副校長
石 橋 和 彦 軽米中学校校長
野 原 勝 博 同 副校長

4 あいさつ〈町長〉

本年度第 1 回総合教育会議の開催にあたり、教育委員会の主要事業及び町内小中学校の今年度の運営方針等の説明を受け、今年度の教育行政の方向性、課題等について協議をお願いする。

5 協議事項

- (1) 平成 29 年度軽米町教育委員会の主要事業について
- (2) 平成 29 年度軽米町立小中学校の学校運営方針について
- (3) その他

6 協議内容

(1) 平成 29 年度軽米町教育委員会の主要事業について

①教育総務グループ事業説明

説明員（工藤次長補佐、八ツ役指導主事）

主な質疑

〈町長〉 学力向上先進校視察の視察先はどこか？

→指導主事 秋田県東成瀬村の小中学校で、学校経営、学力向上をはじめ、学びたい事例の豊富な自治体で、昨年度に引き続いての視察である。

〈教育長〉 鶴飼教育長さんを中心に、学力向上が叫ばれる以前から、村をあげて教育行政を推進されている注目の自治体である。

〈町長〉 視察校での特徴的な取り組みは何か？

→指導主事 特徴の1つは、小中連携による授業改善であるが、例えば、国語力を伸ばすための作文指導、書き方指導、読書指導など文字に親しむという活動を低学年から一貫して行っている。

〈委員〉 町による学力調査は、業者作成による調査問題で実施か？

→指導主事 昨年度から業者を変えて記述式による思考力・判断力・表現力を問うような問題が含まれている調査に変更している。

②生涯学習グループ事業説明（担当主幹）

主な質疑

〈町長〉 町民体育祭の参加者が減少していることについて、これまで検討した経過の説明を伺う。

→担当主幹 今年度の町民体育祭に向けて、これまで2回地区代表者による検討委員会を開催し、競技プログラムの見直しや小中高生の参加方法など検討している。

〈町長〉 先日の小学校の体育祭には、家族が大勢集まっていた。是非、そのような町民体育祭してもらいたい。

→担当主幹 幅広い年代の町民に参加いただくような工夫も加えた運営としたい。

(2) 平成 29 年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

〔設定時間 各校 30 分〕

① 軽米小学校学校運営方針説明〔軽米小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 いじめ防止対策に関わって、保護者への協力依頼は、例えばどんなことか？

→校長 保護者の方々の子ども時代とは、いじめに対する認知の仕方も変わってきていると思うので、どういった事がいじめに該当するかなどを説明して、理解いただいたうえで、家庭でも指導いただくようにしている。

〈委員〉 教育目標の「たくましく」の欄に体力の目標値があるが、本校児童の状況はどうか？

→校長 全国平均よりは若干上回っているといえ、例えばもう少し頑張れば、シャトルランで全国平均100として、110にはなるかとは思っている。

〈町長〉 目標が明確で、しかも目標を達成しようとする意気込みが感じられる。学力を含め、いろんな意味でそのような意気込みは必要と思う。今後も父兄を巻き込んで教育活動を推進してもらいたい。

〈委員〉 県の算数研究大会は、全県規模の大会か？

→校長 全県から集まり、本校は算数部会、軽米中学校では数学部会を実施する。

〈教育長〉 算数研究大会で、ICTを活用した発表の予定はあるか？

→校長 具体的な授業や発表の詳細は、今後検討することとなる。

〈教育長〉 電子黒板は日常的に使えるように、先生方が研修等を行いながら、活用してもらいたい。

〈町長〉 発達障害のある児童への対応について説明を願う。

→校長 担任が気になる児童の特性をチェックし、個別に指導が必要と判断した場合、保護者の方に状況を説明し、検査を勧めるなどしながら家庭からの協力をお願いする。また、子どもの特性をみて、各々に合った指導方法を検討し、実施している。

② 小軽米小学校学校運営方針説明〔小軽米小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 今年度始まった複式学級の授業形態について、説明いただきたい。

→校長 体育・学活などは、5・6年生一緒に行い、主要4教科と総合学習は

5・6年それぞれで授業をしている。

〈町長〉 学びフェストの取り組みは、子どもたち自ら考えて、実践させているのか？

→校長 年度初めに家庭や児童に説明を行い、できるだけ家庭と子どもと学校の取り組みがリンクするように進めている。また、年間3回学校経営委員会を開催し、学校評議員に学びフェストに対する意見を貰い、改善しながら項目を決めている。

〈委員〉 どのようにいじめ対策を進めているか？

→校長 昨年度は6件のいじめを認知している。子ども同士のトラブルは必ずあるので、アンテナを高くして、担任ひとりで解決しないで情報を共有すること、できるだけその日のうちに解決して帰すなど、生徒指導研修会を行い全職員で確認し進めている。また、児童会でも「いじめゼロを目指そう」という取り組みをしており、ポスターの作成や、「思いやりの木」に誰かに親切にされた内容とか、親切にされて嬉しかった事をカードに書いて掲示するコーナーを設けている。

③ 晴山小学校学校運営方針説明〔晴山小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 体力向上のため、休み時間・放課後の遊び方の工夫や業間マラソンに力を入れているようだが、どのように取り組んでいるか？

→校長 体力づくりが課題の一つであり、全校で取り組んでいる。担当は主として体育指導担当の教諭が中心となり、また、できるだけ晴れた日は外で元気に遊ぼうというところは、生徒指導担当者が中心となって取り組んでいる。

〈町長〉 特別支援を必要とする子どもについて心配であるが、状況はどうか？

→校長 通常学級にも情緒的支援や知的支援を必要とする児童がおり、町で配置した特別支援員などが、情報を共有しながら支援・指導にあたっている。

〈町長〉 保育園での様子は、把握しているのか？

→校長 今後とも保育園との情報交換など十分に進めて行きたい。

〈町長〉 全体の学力向上の底上げを図るためには、個々の児童の実態に即

した対応が今後一層大切となる。

〈委員〉 福祉などの関係機関と連携しながら、今後も必要な対応を願う。

④ 軽米中学校学校運営方針説明〔軽米中学校校長・副校長〕

主な質疑

〈町長〉 クラブ活動全般について、チーム編成が難しいなどという話を聞いているが、現状はどうか？

→校長 現在は、ギリギリのところ部活動ができている。昨年度は、女子卓球部の団体戦が組めない状況もあった。個人競技がある場合は個人戦のみというケースもでてくると思う。

P T Aと十分話し合いを持ちながら、部の改廃の規約等の見直しについて、来年度に向けて動き出しているところである。

〈委員〉 小学校の時スポーツ少年団でやっていたスポーツが、中学校に行くと継続できないという状況はあるのか？

→校長 生徒個々の選択によりあり得る。複数の種目をやっていた場合は最後までどちらにするか悩んだりする状況があると思う。

〈委員〉 中高連携で学習指導が行われているようだが、内容はを伺う。

→校長 中高一貫教育として、交流授業が行われている。現在は主として高校から中学校へ訪問して、英数の交流授業を行っている。その他、部活動の交流や中高連携した取り組みも行われている。更に、今年度は、中学校のP T A総会で高校の校長先生から、軽米高校の紹介も行われた。軽米高校で町長講話を行ったと聞いているが、中学校でも予定しており、今後一層中高一貫で郷土のことを学習する機会を作って行きたいと考える。

○閉 会（17時）